

平成 29（2017）年度

文京学院大学人間学部
FD 委員会報告書（概要）

人間学部 FD 委員会作成

平成 29 年度 人間学部 FD 委員会 報告書

あいさつ	p. 1
I 今年度の活動目的	p. 1
II 活動経過と内容	p. 2
III 今年度の FD 活動を振り返って	p. 3
IV 委員会議事録（第 1 回～第 8 回）	p. 4
V 委員氏名	p. 12

あいさつ（木村浩則 学部長）

今年度は、特別な支援や配慮の必要な学生の学びをどう支えていくかをテーマに、学部 FD 活動に取り組んできました。入学する学生の多様化と 2016 年「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行によって、障がいのある学生や何らかの課題をもつ学生の学修や就職に対して、ソフトとハード両面において、様々な配慮や支援を行うことが求められるようになってきました。しかし、教員や職員の負担の増大、学内のネットワークや体制の未整備など解決すべき課題も山積しています。

そこで、まずは他大学の取り組みの事例を学ぶこと、そして学部・学科でのこれまでの経験を交流しながら、よりよい実践を模索することを今年度の FD 活動の課題としました。振り返ってみて思うことは、第一に、授業における個別的な合理的配慮という考え方から、インクルーシブの視点に立った授業改善という考え方へ転換していくことの必要です。誰にとっても学びやすい教育環境や授業方法をどう創りだしていくのかは、本来的な FD 活動の課題だといえます。第二に、学生の受け入れや対応に関する経験を蓄積し、それを共有するとともに、ガイドラインやマニュアルの作成によって対応を合理化していくことの大切さです。それらを担う部署の必要性も痛感しています。

最後に、FD 委員の皆様、2 年間にわたりお付き合いいただき、ありがとうございました。

I. 今年度の活動目的

人間学部の FD 委員会は、今年度で発足 5 年目を迎える。

昨年度（設置 4 年目）は、木村浩則先生が学部長となり、新体制で FD 委員会が設置された。メンバーも再編成され、学科を主体にした FD に変更して「学生募集につながる魅力ある授業づくり」をテーマに、各学科において授業改善を行う事となった。委員の任期も 1 年から 2 年となり、充実した活動が可能となった。このような変更は、それまでの 3 年間の授業研究を主体とした FD 活動を一新するものであったが、昨今の学生募集状況の厳しさを踏まえての対応ともなっている。「魅力ある授業づくり」は、アクティブ・ラーニングの視点に立っており、各学科の委員は試行錯誤しながら精力的に授業づくりに取り組んでくださった。今年度は、この活動を書籍化すべく、原稿作成を行うことにした。

また、昨年度の全学 FD・SD 研修会のテーマを受けて、今年度は「合理的配慮」について前期は講師をお招きし、後期は各学科の取り組みを検討することにした。

（金子智栄子 FD 委員長）

Ⅱ. 活動経過と内容

実施日	FD 委員会（主な議題と内容）	研修会	
<p><前期> 4/5（水）</p>	<p>第 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の FD 委員会と学部 FD 研修の日程 ・書籍化について ・今年度の取り組みについて ・学部 FD 研修会について 	学部前期 FD 研修会	
5/10（水）	<p>第 2 回(メール審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教授会提出用 本年度計画の確認 		
6/7（水）	<p>第 3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍化について ・前期 FD 研修会の内容と後期研修会に向けて 		
7/6（水）	<p>第 4 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍の進行状況 ・前期 FD 研修会の準備に関して 		
7/26（水）			
<p><後期> 10/5（水）</p>	<p>第 5 回(メール審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 FD 研修の反省 ・後期 FD 研修会について 		
11/1（水）	<p>第 6 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 FD 研修の反省 ・後期 FD 研修会について ・活動報告書の作成について ・全学 FD・SD 研修会について 		
12/6（水）	<p>第 7 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期 FD 研修会の実施方法について 研修会プログラムの確認、 アンケートの修正、 当日準備の打ちあわせ 		
<p>平成 29 年 1/31（水） 2/8（木）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・FD 報告書の形式の詳細決定 ・全学 FD・SD 研修会について 		学部後期 FD 研修会 全学 FD・SD 研修会
2/26（月）	<p>第 8 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部後期 FD 研修会の反省について ・FD 委員会報告書の原案について ・今年度の活動の反省と評価について ・次年度の FD 活動の方向性について 		

Ⅲ. 今年度の FD 活動を振り返って

前期の FD 委員長は、学部長の木村浩則先生がなさってください、後期は金子が委員長をさせて頂いた。前期は金子が半期のサバティカルをいただいたため、多大なご迷惑おかけしたことを申し訳なく思っている。昨年度は、学科を主体に、「学生募集につながる魅力ある授業づくり」をテーマにして、各学科において授業改善を行った。「魅力ある授業づくり」は、アクティブ・ラーニングの視点に立っており、今年度は、この活動を書籍化すべく、原稿作成を行った。原稿はほぼ完成し、次年度（平成 30 年度）での出版の方法を模索している。

また、前年度の全学 FD・SD 研修会のテーマを受けて、今年度は「合理的配慮」について研修をした。前期の研修会では、鈴木崇義 先生（國學院大学 教育開発推進機構准教授）をお招きして、「障害のある学生の修学支援をどうすすめるか？—國學院大学の取り組みから—」と題して、ご講演をいただいた。アンケート結果は、「①本日の公演は有意義でしたか？」は『a. はい』が 88%、「②本日の質疑応答は参考になりましたか」は『a. はい』が 88%、「③研修内容について」は『b. 適当』が 94%で、かなり有意義な講演だったことがわかる。

後期は、その内容を基に、学科単位で、「特別な支援を必要とする学生への教育支援」と題して、討議用シートを作成して検討を行った。アンケート結果は、「①本日の学科別討議は有意義でしたか？」は『a. はい』が 82%、「②本日の報告は参考になりましたか？」は『a. はい』が 76%、「③研修内容について」は『b. 適当』が 87%だった。後期も多くの学びを共有したと思う。なお、学部長のご配慮により、教務グループの方も参加が可能となった。教員だけでなく、職員の方とも連携できたことは画期的な事と考える。今後もこのような機会を増やしていきたい。

（金子智栄子 後期 FD 委員長）

IV. 委員会議事録（第1回～第8回）

第1回 FD委員会

日時：平成29年4月5日（水）17時00分～18時00分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、青木 通、茂井万里絵、加曾利岳美、長野祐一郎、古市太郎、渡辺行野

欠席者：金子智栄子（サバティカル中）

<議題>

1. 今年度のFD委員会と学部FD研修について

(1)委員会の日程

前期：4/5、 5/10、 6/7、 7/5、

後期：10/4、 11/1、 12/6、(2/14)

(2)FD研修の日程

前期：7/26 後期：1/31

2. 書籍化について

※別紙資料を参照

- ・木村学部長から提案された、書籍の目次をもとに、各担当が執筆を行う。
- ・分かりやすい文章で、かつ「注」は少なめにする。
- ・執筆要綱に従ってA4用紙で作成し、編集作業の際に、A5に整える。
- ・7月末（夏休み前）に、一度進捗状況をチェックする。以上が確認された。

3. 今年度の取り組みについて

昨年度は、「アクティブ・ラーニング」をテーマに取り組んできたが、これらの活動を書籍でまとめる。今年度は、「合理的配慮」を予定していたこともあり、その方向で進めることが確認された。また、各学科に特別な配慮を要する学生が入学していることもあり、色々な学生(多様な学生)に対して、どのような配慮を行うのか、その方法や工夫なども含めて各学科で事例を集め、まとめ、検証していくことが確認された。

学長裁量経費にFD委員で応募をという話もあるが、個人それぞれに委ねることとする。

4. 学部FD研修会について

前期：講師をお招きし、合理的配慮に関する講演をして頂く。

<実践論的・組織論的な内容が望ましい。>

後期：それぞれの学科で事例検討会

<学科の取り組み、配慮への工夫、事務との連携、学生を支える方法など>

※今年度は、議事録等、予めフォーマットを統一、年度末の冊子はページ数を少なくする。

「次回のFD委員会：5月10日（水）17時～ 西館講師控室にて開催予定」

第2回 FD委員会(メール審議)

日時：平成29年5月10日(水)

参加者：木村浩則、古市太郎、渡辺行野、青木 通、茂井万里絵、長野祐一郎、加曾利岳美
欠席者：金子智栄子（サバティカル中）

<議題>

1. 2017年度FD委員会活動計画について

(1)テーマ：「障害のある学生の修学支援の実践と体制をどうすすめるか?」

2016年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、障がいのある学生の高等教育への進学希望が増加している。また発達障がいなど特別な配慮を必要とする学生も年々増えており、彼らの学修や就職をどうサポートするかは、大学教育にとってきわめて重要な課題となっている。

そこで本年度は、障がいのある学生、特別な支援を必要とする学生の教育支援をテーマに各学科でFD活動に取り組む。具体的には、前期に他大学の実践から学ぶ研修会を実施し、後期に、各学科の実践を交流するとともに、支援の在り方や体制について検討を行う。

(2)FD研修会日程

1)前期 7月26日(水)

2)後期 1月31日(水) M1発表会後

2. 前年度FD活動の書籍化について

(1)タイトル

「アクティブ・ラーニングで学生の主体的学びをつくりだす—文京学院大学の魅力ある授業づくり—」(仮)

(2)執筆者

古市委員、渡辺委員、青木委員、茂井委員、長野委員、加曾利委員、新田（経営学部教授）、馬渡（経営学部教授）、金子委員長、木村学部長

(3)原稿締切

8月末

(4)出版助成申請予定

9月

「次回のFD委員会：6月7日（水）17時10分～ 西館講師控室にて開催予定」

第3回 FD委員会

日時：平成29年6月7日（水）17時05分～18時00分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、茂井万里絵、加曾利岳美、長野祐一郎、青木 通、渡辺行野、古市太郎

欠席者：金子智栄子（サバティカル中）

<議題>

1. 前期FD研修会について

- ・木村学部長から前期研修会で行われる講演の内容についての報告があった。

日時：7月26日(水)14:50～16:20

場所：未定

講師：鈴木崇義先生（國學院大学教育開発推進機構准教授）

タイトル：障害のある学生の修学支援をどうすすめるか？－國學院大学の取り組みから－

- ・当日のお手伝いとして、助手(心理学科・人間福祉学科)の方に、昨年度と同様の仕事を依頼。テープ起こしは依頼しない。
- ・後期の研修会としては、前期講演を踏まえた各教員の取り組みの報告と共有する会を予定。

2. 書籍化について

- ・6月21日(水)までに、概要及びキーワードを茂井委員に送る。
- ・次回(7月5日)のFD委員会で進捗状況の中間報告会を行う。

「次回のFD委員会：7月5日（水）17時10分～ 西館講師控室にて開催予定」

第4回 FD委員会

日時：平成29年7月5日（水）16時10分～17時10分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、茂井万里絵、加曾利岳美、青木 通、渡辺行野、古市太郎、長野祐一郎

欠席者：金子智栄子（サバティカル中）

<議題>

1. 書籍の進行状況

(1)通常部分について

各委員から担当分の概要報告が行われた。

いずれの担当章も、(1)問題提起、(2)実践例の列举、(3)まとめ、の統一構造をもつことで、書籍としての読みやすさを維持するのが良いのではないかとの意見が出た。また、参加学生の声を豊富に紹介するという方向性が提案された。

各章の冒頭（あるいは目次）において、著者の所属学科、実践授業名を明記することで、読者がどこから読み始めれば良いのかが明確になるのではないかとの意見が出た。

各章のまとめにおいて、「担当著者にとってのアクティブ・ラーニングとは」に数行程度で答えるという統一構造が提案された。これは、茂井委員担当のマンガ部分に反映させることとした。

章の掲載順序を、「学内限定の活動から学外活動へ」などのように適切に行うことで、読みやすさを向上させることが出来るのではないかとの意見が出た。

(2)マンガ部分について

茂井委員より、擬人化されたネコを基調とした作画が提案され、加曾利委員より、各教員からの概要報告に基づく作画案が提出された。「アクティブ・ラーニングには実施者によって様々な形がある」との内容を、マンガ部分のメッセージとするため、各教員の担当部分で、「自分にとってのアクティブ・ラーニングとは何か」を簡潔に述べてもらうとの案が出された。

2. 前期FD研修会の準備に関して

配布資料をもとに内容確認が行われた。

「次回のFD委員会：10月4日（水）17時00分～ 西館講師控室にて開催予定」

第5回 FD委員会(メール審議)

日時：平成29年10月4日(水)

参加者：金子智栄子、木村浩則、古市太郎、渡辺行野、青木 通、茂井万里絵、
長野祐一郎、加曾利岳美

<議題>

1. 前期FD研修会の反省

添付の記録とアンケート結果を各委員で確認し、次回FD委員会で意見交換を行う。

2. 後期FD研修会について

日程 2018年1月31日 M1発表会終了後

内容 前期の研修会を踏まえ、各学科に分かれ、特別な支援を必要とする学生への教育支援、生活支援等の現状と課題について、ケース・スタディ的に討議を行う。

次回FD委員会に、各学科FD委員から報告の内容や討議の柱について構想を提案する。

3. 活動報告書の作成について

次回FD委員会で構成案の提示

「次回のFD委員会：11月1日（水）17時00分～ 西館講師控室にて開催予定」

第6回 FD委員会

日時：平成29年11月1日（水）17時00分～18時00分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、金子智栄子、渡辺行野、古市太郎、茂井万里絵、青木 通、
加曾利岳美、長野祐一郎

<議題>

1. 前期FD研修会の反省

記録とアンケート結果を参加委員で確認した結果、内容に関しては特に問題なく、資料をメールで配布することとなった。

2. 後期FD研修会について

日程（2018年1月31日 M1発表会終了後）と内容の確認が行われた。研修会の内容に関しては、特別な支援を必要としている学生について確認を行い、現状を共有し、今後の対応に関して討議していく事となった。

3. 活動報告書の作成について

研修会終了後に、その内容をうけて改めて話し合うこととした。

4. 全学FD・SD研修会（2月8日予定）について

高大連携の枠組みにおいて、入試改革、初年次教育と3つのポリシーに関して扱う予定であることが委員長より報告された。

5. その他

アクティブ・ラーニングの書籍に関して、木村学部長から現状報告が行われた。大学からの助成金は、本年度は経営学部の書籍出版に優先的に割り当てられることとなり、当方の書籍は助成を受けられない事となった。来年度、助成金を利用することを想定しつつも、場合によっては助成を受けずに出版できるよう、順次内容の改訂を行っていくこととなった。

「次回のFD委員会：12月6日（水）17時00分～

西館講師控室にて開催予定とし、1月は開催しない」

第7回 FD委員会

日時：12月6日（水） 17時00分～18時00分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、金子智栄子、加曾利岳美、長野祐一郎、古市太郎、渡辺行野、
青木 通、茂井万里絵

<議題>

1. 後期FD研修会について

(1)日程：2018年1月31日 M1発表会終了後

(2)内容：前期の研修会を踏まえ、各学科に分かれ、テーマ「特別な支援を必要とする学生への教育支援」について、フリートーク情報・問題共有する。それだけに終わらせず、「しくみ作り」に向けての討議を行う。個の特定にならないような配慮が必要、また個別対応や問題提起にとどまらないよう「対応」への協議まで広げる。なお、職員の参加については学部長に問い合わせをお願いします。

研修方法として「教育支援」の場が個の障がい、またそれぞれの学科や教科でも異なることを踏まえ、あらかじめワークシートを用意して各教員に配布する。

2. 活動報告書の作成について：別紙参照

29年度については、構成（案2）にてまとめる。全体のレイアウトは青木委員にお願いします。

※活動内容の確認

- 1) 前年度のFD活動の書籍化
- 2) 学部FD研修会内容（議事録とアンケート結果を載せる）
 - ①鈴木崇義先生（國學院大学）の講演のまとめ（前期）
 - ②各学科からの実践報告（後期）

3. 全学FD・SD研修会（2月8日）について

文科省からの助成金との関係から、極力参加することを学部教員に伝える。

4. その他

(1)学長裁量経費

木村学部長より、来年度の図書出版に助成金が可能になると報告された。

(2)前期人間学部FD研修会の議事録とアンケート結果の教授会報告について。

(3)FD報告書は3月末まで完成を目標とし、後期FDについては、議事録が作成され次第全員でチェックする（メールはパスワードをかけ慎重に行う）。

「次回のFD委員会：2月26日（水）17時00分～ 西館講師控室にて開催予定」

第 8 回 FD 委員会

日 時 : 平成 30 年 月 2 日 26 日 (月) 15 時 00 分～16 時 00 分

場 所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、長野祐一郎、渡辺行野、青木 通、茂井万里絵、
加曾利岳美

< 議題 >

1. 学部後期 FD 研修会の反省について (テーマ設定も含めた振り返り)

各学科から以下のような意見が提出された。

- (1)FD 研修会はとても有意義であった。今後も時間をかけ 1 人ひとりを観ていき、記録を積み重ねていくことが大切である。
- (2)他部署と連携しながら理解を深めて行き、継続的に学生を支援していくことが大切である。
- (3)テーマ・プログラムは良かった。共通のテーマで取り組むと意見が出てきた。個人情報はどう扱うかが学科で議論となった。今後とも継続し、他部署とも連携していくことが必要。

2. FD 委員会報告書について

(1)後期 FD 研修会の議事録掲載について : 各学科で用いた表を掲載することとする。

(2)配信先 :

- ①平成 28 年度と同様、島田学園長、島田理事長、工藤学長、竹内事務局長、大学運営会議にご出席されている先生方へ配信する。
- ②各教務マネージャーに渡し、他学部の FD 委員長 (新・旧) の先生方から、学部教員へ配信していただく。
- ③人間学部の全教員へ配信する。

(3)ペーパーでの保存について

事務担当者に配信し、ペーパーにて保存する。FD 委員の分も印刷をお願いします。

3. 今年度の活動の反省と評価について

FD 委員から、下記の意見が出た。

- ・テーマとプログラムは良かった。
- ・皆で作るとなると盛り上がる感じがあった。
- ・前期 FD における他大学での取り組みを、どのように本学に応用していくかが難しかった。
- ・倫理的配慮が必要であるため、個人情報をどのように扱うかが難しかった。

4. 次年度の FD 活動の方向性について

次年度も、継続したテーマで行うという方向性が示された。その際、今年度使用した表を活用するとよいとの意見が出た。また、金子委員長より、入試の入り口、AP、DP との関係を考えながら進めるよう、次年度の FD 委員にお願いします、という案が出された。

5. その他

FD 委員会報告書は、第 8 回議事録を載せた後、青木委員が前期 FD 研修会の写真を入れ、4 月に完成させる予定である。

IV. 委員氏名

コミュニケーション社会学科 : 古市太郎

児童発達学科: 木村浩則 (学部長、前期委員長)、金子智栄子 (後期委員長)、渡辺行野

人間福祉学科: 青木 通、茂井万里絵

心理学科 : 加曾利岳美、長野祐一郎